

報告者：久木留 毅（文学部教授）

■ラフバラ大学研究拠点活動報告 No.7

5月21日(火)

■Ian とのミーティング(スポーツ政策情報プロジェクト)

具体的な内容について、Ian からアドバイスと方向性の確認をおこなった。SPLISS、Mission 2012、TID、等についても情報提供を受けた。その上で研究の方向性についてディスカッションを実施した。



5月23日(水)、24日(木)

■JSC 久保田氏、中村氏来訪



赴任から今までの活動について説明。その上で今後の研究事業およびその他の関連事業についてディスカッションを実施した。

翌日、Sports Technology Institute (STI)、Sport Park、スタジアム、Power Base 等を視察した。STI では、Dr. Halkon に施設内を案内してもらった。

5月26日(日) — 31日(金)

■Sport Accord 会議参加(サントペテルブルク/ロシア)

Law Accord 参加。現在のスポーツ界における Integrity of Sport の方向性について貴重な情報を得ることができた。現在の日本における状況にとっても有益な情報と考えられた。

東京招致スタッフ、村里氏、鈴木大地氏等と招致活動に関する情報交換、および来場者の紹介を受けた。レスリング関係者らと情報交換を実施した。

Sport Accord および Sport Accord 会議の位置づけ、およびIOCとオリンピック夏季大会競技団体連合(ASOIF)、冬季大会競技団体連合(AIOWF)の関係について確認することができた。さらに多くの参加国、都市、NOC、NF、等から、様々な意見を聞くことができた。



報告者：久木留 毅（文学部教授）

5月31日(金)– 6月3(月)

■ JSC 桶谷氏、櫻木女史ラフバラ大学訪問



以下の施設を見学。Sports Technology Institute (STI)、Sport Park、スタジアム、ナイキアカデミートレーニング場、陸上ハイパフォーマンスセンター、Power Base 等。さらに、Nick (陸上競技コーチ)、Andy (STI マネジャー)、Ian (教授) のインタビューを実施した。その後、STI、Sport Park、Power Base 内部を視察および撮影を行った。

6月4(火)– 7(金)

■ 3rd International Forum on Sport for Peace and Development



IOC ジャック・ロゲ会長在任中における功績の一つである UN との連携・協力を象徴するカンファレンスであった。次期 IOC 会長選立候補者全員 (6 名) が参加。また、2018 年 YOG に立候補している英国からは、スポーツ担当大臣が参加 (立候補都市: グラスゴー)。Sport for All (リマ) と同じく NGO の参加が多かった。特にサッカーを基盤としての NGO 活動は、国際サッカー

一連盟、企業 (NIKE 等) と組む事で Win-Win の関係を作りやすい可能性が有るためか多かった。また、大学関係者もリマ、サンクトペテルブルクより多く参加していた。



■ まとめ

各組織におけるカンファレンスへの参加目的、役割分担が明確であり、中長期的な戦略に基づいている事が改めて理解できた。さらに、カンファレンス中のロビー活動も計画的であり、国際会議、国際カンファレンスの位置づけについて考えさせられた。